

令和5年度 学習指導方針（スクールポリシー）

石川県立小松高等学校

【教育目標】

- ① 自主自律、明朗誠実な生活態度を養う。
- ② 個性を伸ばし、正しく豊かな人間関係を培う。
- ③ 知性を高め、情操を陶冶し、文化創造の意欲と資質を培う。

【自校の現状・課題】

- 生徒は高い能力・資質を有し、勉強・部活動とも意欲的に取り組んでいる。3年間の指導体制「小松教科メソッド」「小松進路メソッド」を軸に、進学実績でも成果を上げている。しかし、入学時より学力に幅があることから、それぞれに応じて学力を伸ばす指導の工夫がより一層求められている。
- 指導を素直に受け入れる反面、他者依存的な傾向も見られ、「自ら考え、行動する力」「自己を管理する力」の育成が課題である。
- P T A・同窓生は学校に対する関心や期待が強く、学校を支援しようとする意識も高い。同窓生には地元企業をはじめ大企業や各界で活躍されている方も多く、そうしたつながりを有機的に教育活動に生かす体制が求められている。

【地域等からの要望】

- 学力上位層に対しては、東京大学や国立大学医学部を始めとする難関大学への実績、全体として金沢大学レベルの大学に合格する学力の保障が求められている。
- 学力だけでなく、挨拶をはじめ、ボランティア活動への参加など、日々の行動において、これからの社会を担うリーダーになるべく人材としての自覚を持った行動が求められている。

【本校において目指す生徒像】（育む資質・能力、身に付けたい力など含む）

- ① 自律的に行動し、他者とコミュニケーションを取りながら協働して、課題解決に向けて粘り強く探究する生徒
- ② 高い志を持ち、学力向上に励み、自己の進路実現に向けて主体的に取り組む生徒
- ③ 将来、地域をリードし世界で活躍する人材として、良識と強い責任感を持ち合わせ、他者を思いやることのできる心豊かな生徒

【学習指導方針（スクールポリシー）】

- (1) 授業において「主体的、対話的で深い学び」を実現し、思考力・表現力やコミュニケーション能力を含む確かな学力を育成する。
 - ・「小松教科メソッド」を軸とし、学習習慣の確立に向けた指導や学力層・個に応じた学習指導により、上級学校進学のための学力を保障する。
 - ・ICTの効果的な活用のもと、アクティブ・ラーニングの手法を取り入れながら「考えさせる授業」を工夫することにより、主体的かつ協働的な学びを推進し、思考力・表現力やコミュニケーション能力の向上を図る。
- (2) 3年間を見通した進路指導体制のもと、生徒に高い志を持たせ、将来を見据えたキャリア教育を実践し、生徒一人一人の進路実現を図る。
 - ・「小松進路メソッド」を軸とし、低学年からのキャリア教育、進路指導の充実を図る。
 - ・P T A・同窓会と連携し、企業訪問や社会人による講演等を通じて、学ぶ意欲や進路意識の高揚を図る。
- (3) 課題研究等の探究学習を通じて、地域をリードし世界で活躍する人材として必要な人間性や社会性を育む。
 - ・課題研究を中心に据えた全校での3年間の学習体系を確立するなか、自ら課題を発見し主体的・協働的に解決することができる探究力を育成する。
 - ・県内の大学や近隣の企業から協力や支援を受け、豊かな人間性を身につけ、国際社会に通用する人材を育成する。